

中国地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会（第２回）
審議概要及び平成２５年度中国地方整備局コンプライアンス推進計画
について

平成２５年３月２６日

中国地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会（第２回）審議概要及び平成２５年度中国地方整備局コンプライアンス推進計画について、お知らせします。

平成24年度 中国地方整備局
コンプライアンス・アドバイザー委員会（第2回）審議概要について

標記の委員会について、以下のとおり開催されましたのでお知らせします。

1. 開催日時 平成25年3月14日（木） 13：30～15：30
2. 開催場所 広島合同庁舎2号館 7階 共用第5会議室
3. 出席委員

委員長	倉田 治	弁護士
委員	磯村 定夫	（社）中国地域ニュービジネス協議会 常任顧問
委員	岩崎 宇多子	税理士
委員	金谷 明彦	中国新聞社論説委員
委員	田中 稔次郎	県立広島大学名誉教授

4. 審議概要

推進計画に基づく取り組み状況等の審議、提言

（1）「平成24年度中国地方整備局コンプライアンス推進計画の取り組み状況について」及び「平成25年度中国地方整備局コンプライアンス推進計画（案）」について」の審議

次のとおり、各委員から意見等が出されました。

①職員のコンプライアンス意識の醸成

- ・「なぜ談合は悪いのか」について、基本の部分を職員にしっかりと理解させ納得するようにしてほしい。
- ・コンプライアンスミーティングは有効だと思うので、難しいテーマよりも自分たちが身近なものとして感じられるテーマで議論するなど充実させてほしい。
- ・入札情報を知り得るのは幹部職員なので、コンプライアンスミーティングを幹部職員も対象とすることに期待している。
- ・副所長という幹部職員が関わって高知の事案が起こっている。悪いと思っていないとか、灰色と思っていてもみんなでやれば怖くないとか、過去からやっていることを引き続きやっているとか、悪いことをやっているという意識が無いということでは非常に問題なので、特に幹部職員の意識改革を行ってほしい。

②事務所に対する指導等の強化

- ・ 所内のコミュニケーションが日頃から上手く機能するように指導することが必要であり、指導者を育成してその指導者が学んだことをさらに事務所の中に広げていくことが重要である。
- ・ 副所長が所長や局幹部職員に対してコミュニケーション（報告・連絡・相談）を図られることが必要である。

③発注者綱紀保持規程の徹底

- ・ 事業者に対しては協力依頼だけでなく、具体の発注に際して発注者綱紀保持規程等の遵守について見える形にすることが必要である。
- ・ 事業者に対して中国地方整備局が発注者綱紀保持規程等遵守に取り組む姿勢を伝える機会を設けることが必要である。

④コンプライアンス関係通報窓口の周知と適正な運用

- ・ 通報は悪いイメージがあり通報した職員にも影響があったが、通報した職員に不利益が無いということだけではなく、内部通報は「正しいこと」であるという認識を、局幹部職員も含めて明確にして示しておくべきである。
- ・ 通報窓口のPRを十分に行うことが望ましい。

⑤入札契約手続きの見直し及び情報管理の徹底

- ・ 事務所等の落札率は、早期にホームページに掲載し、第三者から見られるようにしてほしい。

⑥内部監査の強化・充実

- ・ 事務所内で業務を改善することを目的とした自主監査を実施させ、その上で局の内部監査をあらを探すのではなく改善するために指摘していくような方法で実施し、例えばそこで不都合な事例があれば他の事務所にも水平展開するというような仕組みも考えられる。

⑦その他

- ・ 平成25年度の推進計画には基本的姿勢は書かれているが、さらに局長等幹部職員のコンプライアンスに取り組む姿勢や考え方が各事務所に伝わるようにしてほしい。

（２）提 言

本日の委員会で出された意見を踏まえてさらに充実した「平成25年度中国地方整備局コンプライアンス推進計画」の取り組みとして下さい。

平成25年度中国地方整備局コンプライアンス推進計画

はじめに

職員ひとり一人が適正に職務を行うためには、国家公務員法、国家公務員倫理法、発注者綱紀保持規程等の関係法令を正しく理解した上で、コンプライアンス意識を持ち続けることが必要であり、そのためには研修や職場での啓発活動等を繰り返し行うことが重要である。

併せて、職員が関係法令に違反・抵触することとならないような環境整備にも取り組んでいくことが重要である。

このため、平成25年度コンプライアンス推進計画を以下のとおり策定する。

1 職員のコンプライアンス意識の醸成

職員個々のコンプライアンス意識の醸成を図るため、繰り返し、コンプライアンスに関する講座・研修・講習会等を受けられるような体制を作る。

(1) コンプライアンス出前講座

発注者綱紀保持及び公務員倫理の意義と重要性を周知し、入札関係その他の不祥事の防止を図ることを目的に、本局職員が講師となり、全職員を対象とするコンプライアンス講座を実施する。

(2) 外部講師によるコンプライアンス講習会

①全職員を対象とするコンプライアンス講習会

全職員を対象に、発注者としてのコンプライアンスの意義及び重要性に関する理解を深める目的で、外部講師を招いたコンプライアンス講習会を実施する。

②幹部職員を対象とするコンプライアンス講習会

幹部職員（事務所長、副所長を含む）を対象に、組織の管理職として必要なコンプライアンスに関する高度な管理能力及び判断力の向上を図る目的で、外部講師を招いたコンプライアンス講習会を実施する。

(3) 職員研修におけるコンプライアンス講義

中国地方整備局で実施する職員研修の重点実施事項にコンプライアンスの徹底を定め、それに基づき各研修等のカリキュラムにコンプライアンスに関する講義を設ける。

(4) コンプライアンス・ミーティング

各職員が職場内で自発的に意見を出し合うことにより、職員のコンプライアンスに関する意識の向上を図ることを目的に、コンプライアンス・ミーティングを四半期に1回、全職員を対象に実施する。

原則として所属単位を基本とし所属職員全員が参加して、本局が提示した具体的な共通テーマに即して、ひとり一人の理解が深まるような工夫を行う。

なお、ミーティング結果の報告を義務付け、質問に対してはフォローアップを行う。

（５）公務員倫理の周知徹底

国民の疑惑や不信を招かないために、国家公務員倫理法や倫理規程の遵守については、上記に掲げる出前講座や倫理週間等の機会を通じて周知徹底を図る。

（６）談合に関わった場合の懲戒処分、損害賠償請求等についての周知徹底

上記に掲げる出前講座や職員研修等では、発注者綱紀保持規程、倫理規程、官製談合防止法、国家公務員法、懲戒処分、損害賠償請求、刑罰等に関する講義等を実施し、その中で、違法性の認識や入札談合等関与行為の絶対悪について基本的理解を深めるなど、コンプライアンスについて周知徹底を図る。

（７）パソコン立ち上げ時のコンプライアンス遵守メッセージ表示

職員のコンプライアンスに関する意識の高揚とその徹底を図るため、定期的に全職員を対象として、行政パソコンの立ち上がり時に、コンプライアンス遵守メッセージを表示する。

２ 事務所に対する指導等の強化

事務所のコンプライアンス指導者の育成

①事務所の副所長を対象に、組織の管理者として必要なコンプライアンスに関する高度な管理能力及び判断力の向上を図る目的で、管理職研修を実施する。

②事務所の課長を対象に、コンプライアンスに関する理解を深め、部下職員へ適切な指導が行えるよう、管理職としての資質の向上を図る。また、コンプライアンス・ミーティングを実効あるものとするため進行役としてのスキルの向上を図る目的で、コンプライアンスセミナーを実施する。

３ 発注者綱紀保持規程の徹底

（１）職員に対する発注者綱紀保持規程の周知徹底

①国民の疑惑を招かないよう発注事務に係る綱紀の保持を図るために、関係法令の遵守はもとより、発注者綱紀保持規程について周知徹底する。

②発注担当職員が事業者等との適切な応接の実施を図るため、発注者綱紀保持マニュアルに定める事業者等との応接方法について周知徹底する。

（２）事業者に対する発注者綱紀保持規程の遵守のための協力依頼

発注者綱紀保持規程の取組やコンプライアンス推進計画について、事業者、事業者団体等に対し、ホームページ掲載や会合等の場において紹介するなどにより、協力依頼を行う。併せて、執務室の入口等に、執務室への入室にあたっての協力依頼を掲示する。

4 コンプライアンス関係通報窓口の周知と適正な運用

コンプライアンスに関する通報窓口について、職員に通報が正しい行為であること、不利益にならないことを明確にして、その周知を行い、通報しやすいものとするよう取り組む。

また、通報があった場合には、「職員が発注者綱紀保持規程に抵触する事実を確認したときの通報の対応フロー」、「職員が事業者等から不当な働きかけを受けたときの報告の対応フロー」等に基づき、迅速かつ的確な対応を行う。

5 入札契約手続きの見直し及び情報管理の徹底

平成24年12月28日付け本省通知「高知県内の入札談合事案を踏まえた入札契約手続きの見直しに係る試行の実施について」に基づく、技術資料と入札書の同時提出、関係資料の管理の徹底等の試行を継続実施する。

6 内部監査の強化・充実

一般監査において、コンプライアンスの取組状況や入札・契約事務の適正な執行状況及び不正行為防止取組状況を重点監査事項に位置付けて監察強化を図る。